

ぬまじ憲法9条の会

日本が「戦場」になる ことを多くのの人に

なぜ日本が戦場に

日本外務省元国際情報局長である東アジア共同体研究所所長の孫崎享氏は、「米国は単独で中国に対抗すれば負けることを知っているから、この新しい日米韓同盟を作ろうとしている。

しかし、経済を見ると（日韓にとって）中国との結び付きは圧倒的に強い。米国は日本を利用してロシア、朝鮮、中国に対抗する態度を取る。そうすると、米国は身を局外に置くから日本に反撃が来る。米国にとって有効な戦略だが、日本にとっては決して有効ではない」との文書を読みました。

改憲勢力・日本政府は

改憲勢力は「安全保障上の脅威が高まっているので軍備拡大はしかたがない」、
「防衛力の強化・敵基地攻撃能力の保有は戦争の抑止力になる」とし、着々と軍拡を具体化しています。

台湾有事はあるか

岸田首相は「ウクライナの次は台湾」と発言し、世論調査でも「台湾有事で日本が巻き込まれる不安がある」と80%の人が感じています。

日本、米国も台湾は中国の一部であることを理解し尊重してきました。台湾独立など現実に起こ

211号
2023年
9月1日 発行
事務局
神田健夫
055-921-7755

りうることでしょうか。台湾の与野党とも改憲し独立するなど主張していないし、台湾の民意は独立ではなく、85%が現状維持です。中国は台湾の平和統一をめざすと言っています。

だから日本まで危機を煽って軍拡を進める必要はないはずです。

米国は軍事力と経済力で世界一を維持するために、日本、韓国を陣営に引き入れる戦略ではないのでは。

防空壕とシェルター

2022年9月に、政府は避難のための「シェルター」（防空壕）を沖縄の先島に整備する計画を発表し、各地で避難訓練が行われています。

戦争の危機は本土も同じです。しかし、基地の司令部は、強靱化計画で地下に

つくろうとしています。国民をどう守るのでしょか。国民に「防空壕」をつくれと言うのでしょうか。

今政府は、有事の際に国民の避難場所となる「シェルター」への財政支援を検討しています。有識者会議で「シェルター」の性能や設備の要件をまとめるそうです。沖縄の危機感と本土の危機感の違いに驚きます。

日本が「戦場に」なる ことを多くのの人に

「台湾有事」になれば、戦争になる前に、相手国だけからだけでなく、経済封鎖され食料、エネルギーを輸入に依存している日本は生活さえ困難になります。

現実に戦場になれば、以前に比較して殺傷力の強い兵器が使用され、シェルターに避難しても防ぐことは出来ないうでしょう。

世論の力で、政府に「台湾有事」を回避させることに力を集中しましょう。

日本を戦場にするな

「戦争させない 憲法壊すな 沼津の会」 主催

日時 9月17日（日）

13時30分

会場 沼津中央公園

集会・スタンディング

○大軍拡・改憲は戦争への道

○9条改憲許さない

○安保3文書改定撤回せよ

○ロシアはウクライナ侵略を止め即時撤退

雨天中止

土曜日・駅頭

スタンディング

場所 JR沼津駅南口

井上靖記念碑前

時間 13時30分

14時15分

9月2日 9日

16日 23日 30日

いずれも土曜日

プラカードを持って立っても、腰掛けても参加出来ます。

雨天中止

あなたの思いを

行動に

9・1プレ企画、10・5大集会を 成功させ、それをバネに

11月には全国の津々浦々で軍拡反対、改憲阻止の多様な声と行動を！

九条の会（本部）は岸田首相の推進する軍拡に反対し、明文改憲を阻止するため、首都圏の会が中心になって実行委員会をつくり、「総がかり行動実行委員会」、「市民連合」の協賛も得て、

10月5日に「九条の会大集会 大軍拡反対！憲法改悪を止めよう」を開催することにしました。

8月3日、10月5日の大集会を梶子に11月には全国津々浦々で市民が軍拡反対、改憲ストップの多様な行動に立ち上がることを呼びかける声明を発表しました。

また、9月1日には、10月5日大集会のプレ企画として、岸田首相の狙う明

文改憲に焦点を絞り、その危険性を学ぶ講演会を企画しています。9月1日のプレ企画に改憲に危惧を持つ多くの市民の皆さんの参加を訴えます。

集会の内容

10・5 九条の会大集会
大軍拡反対！
憲法改悪を止めよう

日時 10月5日（木）

19時～21時
会場 なののZERO
大ホール

①田中優子さん

岸田首相の軍拡 改憲に反対する声を！

②中野晃一さん

改憲軍拡でなく、安心供与を

文化行事 ライブあり
参加費 999円

主催 「九条の会10・5大集会実行委員会」

ぬまづ憲法9条の会 18周年のつどい

今年「ぬまづ憲法9条の会」を結成して18年、「18周年のつどい」を開催します。
日時 11月11日（土）
開会14時

会場 沼津市立図書館

4階 視聴覚ホール
講演 「知らなかった・僕らの戦争」

アメリカの詩人がニッポンのこれからを語り

ます
講師 アーサー・

ビナードさん

アメリカ合衆国ミシガン州生まれの詩人・俳人、随筆家、翻訳家。

当会でも2010年

「池袋から堪忍袋まで」、

2017年11月「こ

とばのおそろしさ」そして日本の未来」をお話ししていただきます。

原発事故の汚染水海へ 反対する人に同調圧力 風評被害だけでない

汚染水を海へ流すことには誰もが望んでいなかったはずですが、政府、東電も「海洋放出は関係者の理解なしには、いかなる処分もおこなわない」としてきた。しかし、世論調査では放出賛成50%、政府の説明は不十分70%でも押し切って放出強行しました。

国内でも反対の声
国内でも放出反対の声は高まっています。福島も反対です。中国の反対の声に、真摯に受けとめず、政治利用している等々、報道も解説者も批判のオンパレード。マスコミは国内外の反対の声を報道しない

放出停止に努力

放出は30年続くとしているが、汚染水を止める目途さえありません。反対する国とは協議し、一日にでも早く汚染水を止める方法を見つけ、放出をやめることで、世界の理解を得ることです。

ちよつと良いニュース

*8月10日 東京地裁
年齢で不合格 「違法」
医学部入試 順天堂大学
に賠償命令

*8月18日 米東部ニューヨーク州
原発汚染水放出を禁止
米NY州法案成立 住民
が企業に勝った

*8月21日 東京
在日コリアンと日本人の
学生
差別反対のパレード
関東大震災・朝鮮人虐殺
100年

*8月22日 スイス・ジュ
ネーブの国連欧州本部
国連に高校生平和大使
核廃絶へ署名62万
提出
4年ぶりに核廃絶署名提出